

令和８年度第１回武蔵野市防災会議議事録

開催日時	令和８年７月２７日（月） 午後１時３０分～２時１０分
開催場所	武蔵野市役所西棟５階 対策本部室
防災会議委員	別紙「武蔵野市防災会議委員名簿」のとおり
出席委員	※委員名後ろの（代理）は当日代理者が出席 小美濃安弘、矢内真理子（代理）、大久保雅輝、木崎剛、落合勝利、 一ノ関秀人、荻野芳明、吉原健、本島鉄也、小野山武男、篠宮謙二、 富岡達生、高尾一史（代理）、黒崎雅之、仲辻圭吾、浅倉浩、 中嶋伸、谷口勝哉、西田順子、高橋勇、佐々木岳、千葉孝、 海沼敏恭（代理） （計２４名出席／２８名）【敬称略】
事務局	防災安全部

１ 開会

【事務局】

定刻となりましたので、令和８年度武蔵野市防災会議を進行いたします。本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

私は、議事に入るまでの間、進行を務めます防災安全部長の横山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

武蔵野市防災会議の目的は、武蔵野市地域防災計画を策定し、その実施を推進することとなっております。従来は、計画の策定・修正時のみ開催しておりましたが、令和５年度から、関係機関の皆様の情報共有の場として年に１回程度開催しております。本日は、今年度に修正予定の武蔵野市地域防災計画についてご説明等させていただきます。よろしくお願いいたします。

次に、本日の配付資料を確認させていただきたいと存じます。

—＜配付資料確認＞—

なお、武蔵野市防災会議運営規定第５条の規定によりまして、議事録の作成が義務づけられておりますので、本日は録音をさせていただいております。あらかじめご承知おきください。

また、記録のため、ご参加いただいている皆様の全体写真を撮らせていただきたいと思います。着席された状態で、カメラに視線をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

—＜写真撮影＞—

それでは、ただいまより令和8年度第1回武蔵野市防災会議を開会いたします。

武蔵野市防災会議傍聴要領第2、3条の規定により、防災会議の議決がない場合は、公開し、傍聴人を10名以内で認めることができます。

本日2名の希望がございますが、傍聴を認めてよろしいでしょうか。

それでは、傍聴人の入場を認めますので、しばらくお待ちください。

—＜傍聴人入場＞—

さて、この会議の議事でございますが、武蔵野市防災会議運営規程第4条の規定によりまして、会長が主宰することとされております。これより、会長であります、小美濃武蔵野市長に進行をお願いいたします。市長、よろしくお願いいたします。

2 議事

【会長】

この会議の進行を務めます、武蔵野市長の小美濃安弘でございます。今日はよろしくお願いいたします。

近年、能登半島地震や日向灘を震源とする地震を始めとして、日本列島において地震が激甚化している状況であります。首都直下地震も今後30年以内に70%の確率で起こるといわれており、市としても、市長就任以来、1年目には家具転倒防止金具、2年目には携帯トイレ、3年目の今年度は感震ブレーカーを全世帯に配布する事業を行っております。

過去の事例を踏まえると各自治体年間250個程度の配布であったため、当初は、そこまで申請がないのではないかと、500個程度の予算を確保していたものの、7月1日から申請受付を始めたところ、2日間で500件の申請をいただきました。今後、補正予算を組み、多くの皆様に申請いただけるように取り組みたいと考えております。

昨年度より2年間かけて武蔵野市地域防災計画の修正を行っております。引き続き、委員の皆様には本会議を含め、様々なご意見を頂戴できればと思っています。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

本防災会議は、武蔵野市防災会議運営規程第3条の規定によりまして、会議の開催には過半数の委員の出席が必要となりますが、総委員28名中、現在24名の出席をいただいておりますので、会議は有効に成立しております。

それでは、さっそくではございますが、議事に入らせていただきます。

次第の1(1)「武蔵野市地域防災計画（令和8年度修正）概要版（案）について」事務局より説明をお願いします。

【事務局】

—＜事務局より説明＞—

【会長】

ただいまの説明につきましてご質問、ご意見がございましたら、ご発言をお願いいたします。

【委員】

火山噴火降灰について、もう少し詳しい説明をいただけますでしょうか。

【事務局】

次の資料の2の方でも説明しますが、東京都地域防災計画の火山編が修正されまして、それに合わせて修正したものでございます。

火山噴火による影響は様々ありますが、基本的には武蔵野市だけで対策を行うのは難しい部分もあり、東京都の計画の記載を載せております。

【会長】

NHKでも2日間ドラマで放送されてご覧になった方もいらっしゃると思うのですが、市の取れる対策はなかなかない状況です。

火山灰は、大体3cm積もると車が走れないと言われております。緊急輸送道路だけでもその灰を取り除いたとしても、灰の置き場所等々、まだ具体的に詰められていないところがございます。東京都が決めた計画を踏まえて、市としてどのようにしていくのかが、今後の課題であると思っております。

1日も早く具体的な案、取り組みを、東京都とさらに詰めて、防災計画の中に記載していきたいと思っております。

【会長】

他にございますでしょうか。次第の1(1)「武蔵野市地域防災計画（令和8年度修正）概要版（案）について」は、防災会議としてご承認いただいたものと確認させていただきます。

続きまして、次第の1(2)「武蔵野市地域防災計画（令和8年度修正）の主なポイントについて」及び次第の1(3)「武蔵野市地域防災計画（令和8年度修正）原案について」事務局から説明をお願いします。

【事務局】

—＜事務局より説明＞—

【会長】

冊子が分厚いので、読み込むのは大変ですが、ただいまの説明につきましてご質問、ご意見がございましたら、ご発言をお願いいたします。

【委員】

国の政策に準じて作られていると思うのですが、例えばミサイルが打ち込まれるなどの想定は全くされてないのでしょうか。

【事務局】

こちらは地域防災計画ではなく、国民保護計画の方で対応について検討していくことになっております。ミサイルの関係も、様々動きがあります。国民保護計画も、来年度以降に改定を予定しておりますので、そのタイミングで検討を行いたいと考えております。

【会長】

それでは先に進めます。次第の1(2)「武蔵野市地域防災計画（令和8年度修正）の主なポイントについて」及び次第の1(3)「武蔵野市地域防災計画（令和8年度修正）原案について」は、防災会議としてご承認いただいたものと確認します。なお、承認いただいた原案について、軽微な修正を行うことに関しては、会長に一任いただきたいと思います。また、大きな修正が発生した場合につきましては、委員の皆様にご改めとお知らせし、ご承認いただく場合がございますので、予めご承知おきください。

続きまして、次第の2「武蔵野市地域防災計画修正のスケジュール(案)について」事務局からご説明をお願いいたします。

【事務局】

—＜事務局より説明＞—

【会長】

ただいまの説明につきましてご質問、ご意見がございましたら、ご発言をお願いいたします。

【委員】

意見聴取について、自主防災組織の方にも意見聴取することになっているようですが、これは各自主防災組織それぞれにこの資料を渡し意見を聴取する流れでよろしいか、確認させていただきます。

【事務局】

現在、避難所運営組織の情報交換会を随時行っておりまして、その中でグループワーク等も含めてご意見をいただいているところですので、そちらが意見聴取の機会であると考えています。

【委員】

それぞれ地域の中で、自主的な、いわゆる地域防災会などを運営してるところがあるかと思いますが。防災会の運営が困難などという差が地域によりあると思うが、そのあたりの意見聴取なども合わせて、どのような対応をされるのか教えていただけますか。

【事務局】

先ほどは避難所組織のことだけ申し上げましたが、毎年9月には自主防災組織の地域・町会またマンション自主防災組織の方々にも集まっていただき、意見交換会をする機会を設けてございますので、そこで改めてご意見や悩み等、幅広い意見をお聞きできればと思っております。

【会長】

続きまして、次第の3、防災関係機関による報告事項として事前にご提出いただきました資料につきまして、武蔵野消防署よりご説明をお願いいたします。

【東京消防庁武蔵野消防署】

東京消防庁武蔵野消防署長の本島でございます。

私からは熱中症予防についてご報告させていただきます。資料5をご覧ください。

各メディアで連日報道されていますので、皆さんもよくご存知かと思いますが、関東甲信地方でも梅雨明けをし、本格的な夏に入り、先週の東京都内では35度を超える猛暑日等を記録して、熱中症警戒アラートも発表されている状況です。

先週の水曜日22日には、東京消防庁管内における1日あたりの救急搬送者数が過去最多を記録しております。また、1日あたりの熱中症による救急搬送も過去最多の状況にあります。非常に救急搬送件数が増えております。

お手元の資料に記載のとおり、熱中症による救急搬送は年々増加をしております。武蔵野市内においても同様の状況で、昨年1年間でも約100件の熱中症救急搬送がございました。幸い、亡くなった方はいらっしゃいませんでしたが、件数が増えております。約4割が、入院を必要とする中等症以上です。

今年の6月はやや気温が低かったというのもあり、件数は少なかったですが、今月に入ってから気温上昇し、特に先週もかなり増えております。また、昨年の熱中症による救急搬送の内容としては、18歳以下のお子さん等は、運動場や公園など屋外での発生が多く、65歳以上の方は、ご自宅など屋内での発生が約半数を占めている状況です。

また、先ほど救急出場件数が過去最多と申し上げたが、救急出場が多くなればなるほど、消防署に救急車がない状況が続いてしまいます。つまり、119番通報をしていただいても、救急車の到着が遅くなってしまうということです。武蔵野消防署としても、可能な限り、救急隊を臨時に増やし、追加で編成して対応をしているところですが、時間帯によってはすぐにはいけないことも想定されます。

熱中症の予防が非常に重要になりますので、我々としても様々な機会でご報告していき

いと考えております。内容は後ほどご覧いただければと思いますが、熱中症の予防の他に、熱中症の応急処置という記載もありますので、この資料を参考に、熱中症の予防、または熱中症になった方に良い対応をしていただけるよう、皆様の組織においても周知をしていただければと存じます。

なお、一番下のところに、病院に行くべきか救急車を呼ぶか判断に迷った場合のための東京版の救急受診ガイドがございます。これは、インターネットで判断できるものです。また、東京消防庁に救急相談センターがあります。シャープ 7119 で電話いただければ、看護師等がアドバイスしますので、ぜひご活用いただければと思います。簡単ではありますが、私からは以上になります。

【会長】

ただいまの報告事項につきまして、ご質問、ご意見がございましたら、ご発言をお願いいたします。

その他に委員のみなさまより共有すべき報告事項等はございますか。

それでは続きまして、次第の4 その他について事務局より説明をお願いします。

【事務局】

—＜事務局より説明＞—

【会長】

ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がございましたら、ご発言をお願いいたします。

3 閉会

【会長】

皆様のご協力のもと、会議がスムーズに進んだことにお礼申し上げたいと存じます。

以上をもちまして令和8年度武蔵野市防災会議を閉会といたします。今後も、本計画の着実な推進に向け、引き続き、ご出席の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

以上